



不審者から「命を守る」訓練

学校長 小木曾敏樹

24日(水)の第2限に、校舎内に不審者が侵入し暴れ出すという設定での「不審者対応訓練」を行いました。子どもたちが安全な場所へ避難する訓練であり、職員がどう子どもたちを安全に誘導し、迅速に警察に連絡し、警察が来るまで不審者とどう対峙するかという、職員の訓練でもあります。

不審者役は、中津川警察署林指導員さん。迫真の演技で職員の制止を突破し3階で暴れました。宮下先生、水野ゆみ先生、小池先生が刺叉を持って不審者と対峙し、その他の先生で児童を誘導しました。林さんの迫真の演技もあり、子どもたちは緊張感をもってとても上手に避難をしました。

他の学校にはたぶんないだろう、南小学校だけの秘密の避難階段を使って、2年生以上は外に避難しました。1年生は幼稚園を通して外へ。学校からなるべく遠ざかり安全を確保するというので、昨年は三洋堂書店様にご協力いただきお客様用駐車場へ避難しました。今年は、その一手手前のプール横駐車場に避難しました。

真面目に、とても上手に避難できたので、良かったところを2つ話しました。

1つ目。周りをキョロキョロ見るような子がいなかった。人は集中したり真剣になっている時、キョロキョロしたり、無駄な動きはしないもの。だから、今日は全員が真剣にできたということが分かる。

2つ目。道路を渡る時、左右の確認をちゃんとしていたこと。手をあげて渡る子もいたこと。先生が旗をもって交通安全を確認しているけれど、自分でちゃんと確認して渡ったこと。不審者から逃げてても交通事故にあってしまったら意味がない。みんなは自分の命をちゃんと自分で守ろうとした。

中津川警察署林さんからは、不審者との距離をとり逃げること、身を守る方法などを教えていただきました。幼稚園の子も一緒に訓練をしました。

この訓練の翌日、25日の朝、長野市の小学校に不審者が侵入し、男子児童に液体をかけて逃走、男子児童は救急搬送されました。めったにあることではないのですが、いつ起きてもおかしくないこと。子どもたちの命を守りきるため、今後もしつこく続けていきたい。



これからの「命を守る訓練」について

「不審者対応訓練」では、不審者がどこから侵入し、どこへ向かおうとしているかによって、児童の避難場所は変わってきます。最低限、東か西かの2経路は確保しておく必要があると考えています。2つの避難経路を覚えた上で、臨機応変に判断できる力を職員にも子どもたちにも付けるための訓練も必要だと考えています。

「地震・火災等の避難訓練」では、実際に起こりうることを想定した訓練を行ってきています。子どもたちが自分で判断し行動する訓練も行っています。今後もそのレベルを上げていこうと考えています。棚などは固定し転倒防止対策を行っていますが、照明器具、窓ガラスなどが割れて落下することは防ぎきれません（学校には強化ガラスが入っていますが・・・）。けがをした児童の手当てと避難・搬送を含めた訓練が必要だと考えています。

「登下校の交通安全」指導は、2月に高学年へのリーダー指導、3月に1～5年生への指導、そして春に新1年生を加えての全校指導、気が緩んでくるところにまた指導。全ての指導は警察や市の指導員の方をお招きし、グラウンドや学校周りの実際の通学路を使って、実地訓練を行っています（一般的には年1回が多いそうです）。問題が報告された場合、その都度全体の問題として、「全校地域」（各地区・登校班ごとの会議）を開いて話し合っています。他校に比べかなり多くの時間を使っています。

訓練ができていないのは、他国からの弾道ミサイル等に対する「Jアラート」への対応訓練です。ガラス面が多い校舎であることから、瞬時に避難すべき安全な場所が見つからずに訓練が実施できていません。専門家の指導を仰ぎたいと思います。

南小学校では、おそらく他校と比べて「命を守る」訓練や指導を多く行っていると思います。形だけにならないよう、子どもたちの力になる訓練を行っていくつもりです。



「PTA資源回収」ありがとうございました

5月28日（日）の「PTA資源回収」には、全ての保護者の皆様、地域の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。天候にも恵まれ多くの古紙を回収することができました。PTA本部役員さん、各支部長さん方には、事前の打ち合わせや準備も含め、本当にありがとうございました。収益については、子どもたちの学習や安全、楽しい学校生活に役立つよう、本部役員さん方と協議しつつ使わせていただきます。



安全のため「引き取り」での下校に、ご協力を

「気象警報」等が発令されていなくても、「かみなり」「激しい雨」、そして、「熱中症の危険性が高まる異常な高温」など、児童の下校に危険があると判断した場合、お迎えをお願いすることがあります。

また、「不審者事案」が発生した場合なども、同様にお迎えをお願いする場合があります。

下校時におけるメールの配信には、留意をお願いします。

